

科目名	年度	レポート番号	クラス	学籍番号	名前
API 実習	2023	5	B	20122010	伊藤瑠晟

ページ数や文字数よりも、読んでわかりやすく書けているかどうか、点数アップの分かれ目です。

API を使ったアプリやゲームが作ったけど「動きませんでした、完成しませんでした」は評価に値しません。単位取得は、きちんと動くものが評価対象です。API を使うこと、そしてプログラミングは 1 年生からの講義で学ぶことをすべて活用すれば実現できるはずです。

設問(1)

この科目で学んだ内容を第 3 者(他学部の学生や親など)にわかるように説明せよ。

私たちはこの API の講義で API とはソフトウェアアプリケーション同士が情報をやり取りするためのインターフェースであるということから学んだ。普段使っているインターネットの裏側で何が起きているのか、脆弱性についてどう対処しているか、具体的なエラーコードについても学んだ。また、膨大なサーバーにどう対処しているかも学んだ。いつも何気なく利用している側であるが、仕組みや管理側のことを知ること、将来につながるのはもちろん、使用している時の理解も深まったので対処がしやすいと感じた。

設問(2)

レポート(4)をもとに、API 連携作成または API を用いたサービス開発結果を書いてください。何かしら動くものが出来ている前提です。

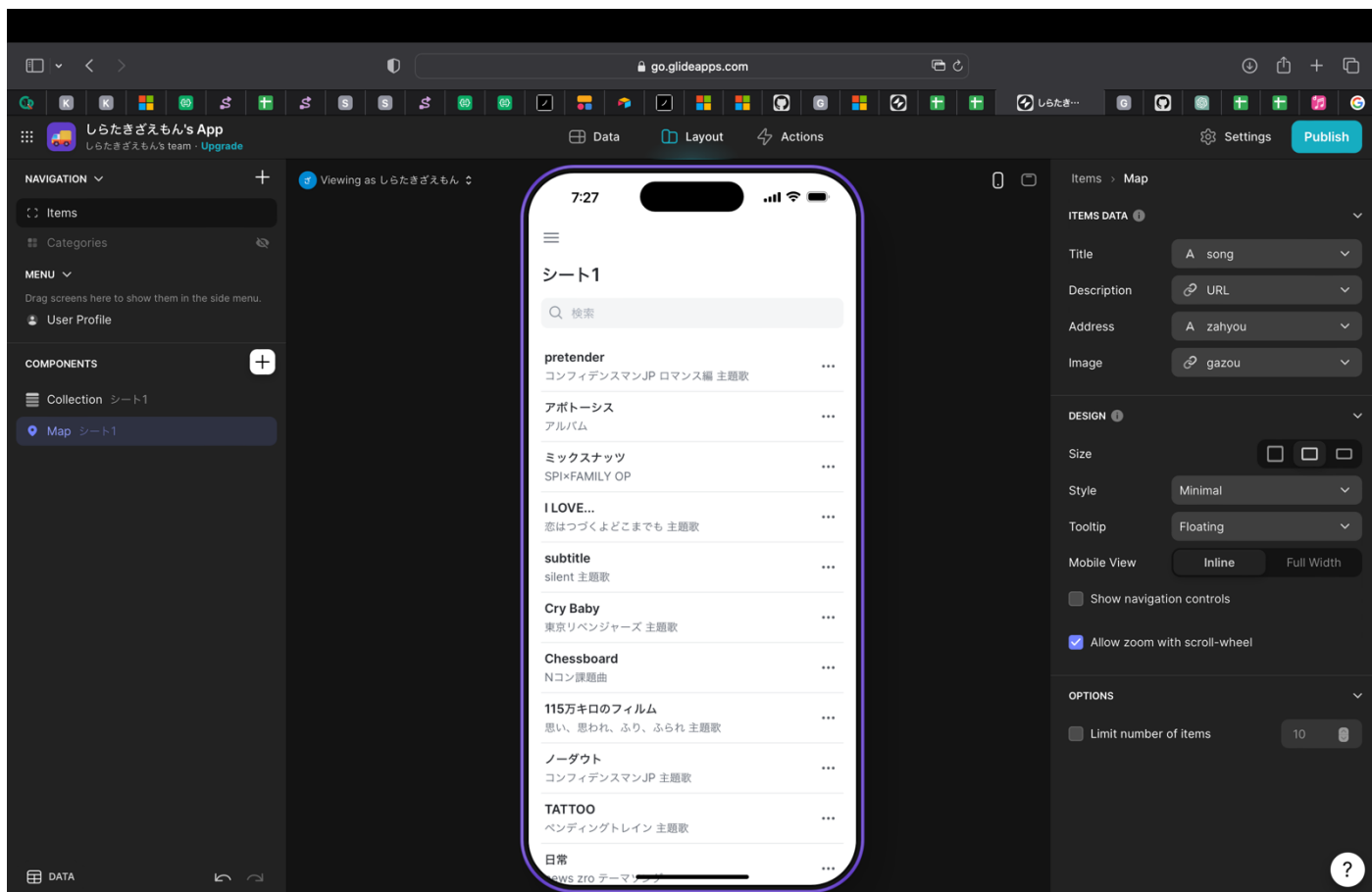
名称

Official 髭男 dism をもっと気軽に詳しく

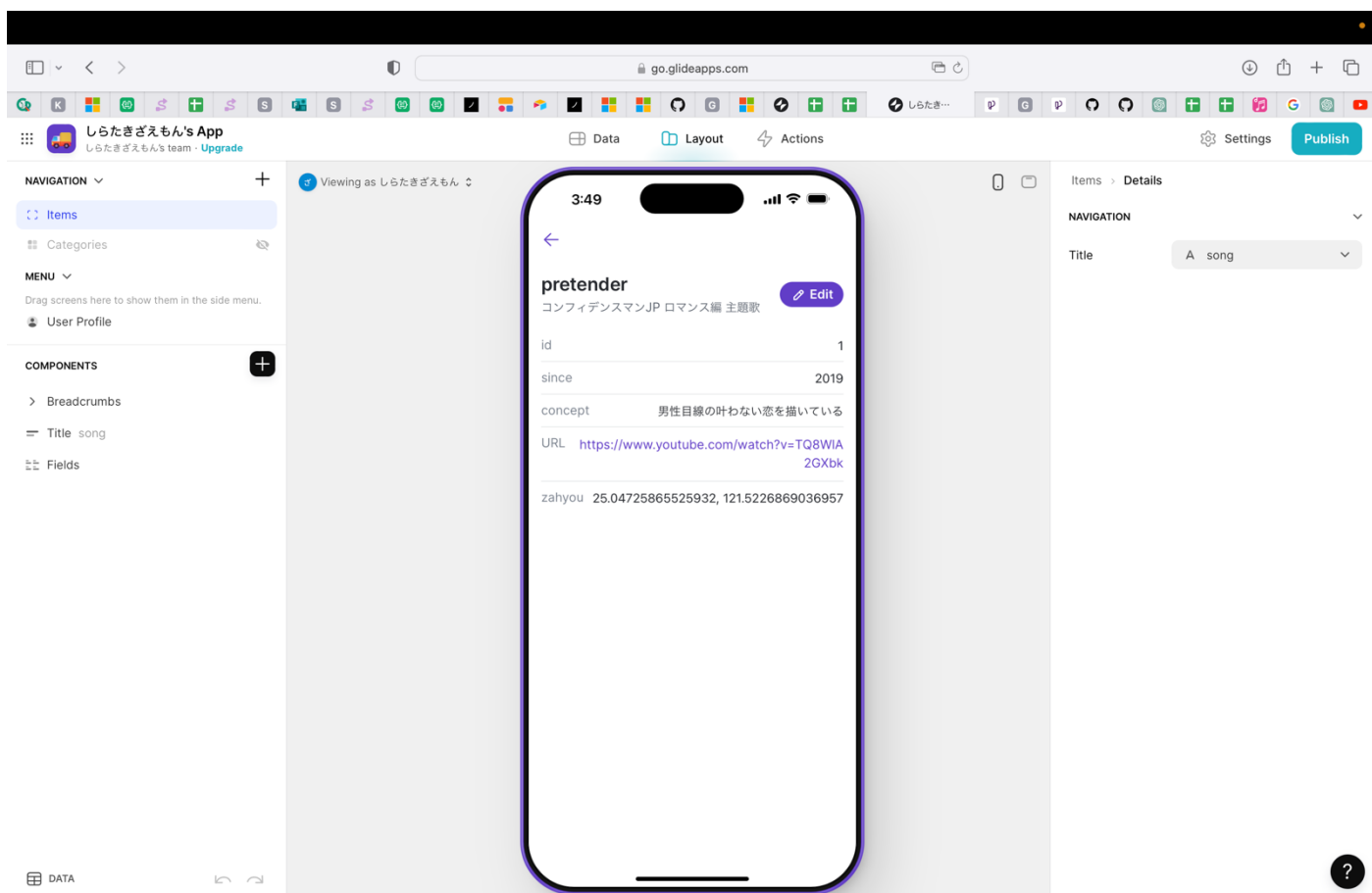
概要(作ったものの説明)

Official 髭男 dism というバンドの曲はどのようなコンセプトで作られたのか、いつリリースしたのか、撮影場所はどこなのかを調べられてもこのバンドについて詳しくなれるものである。

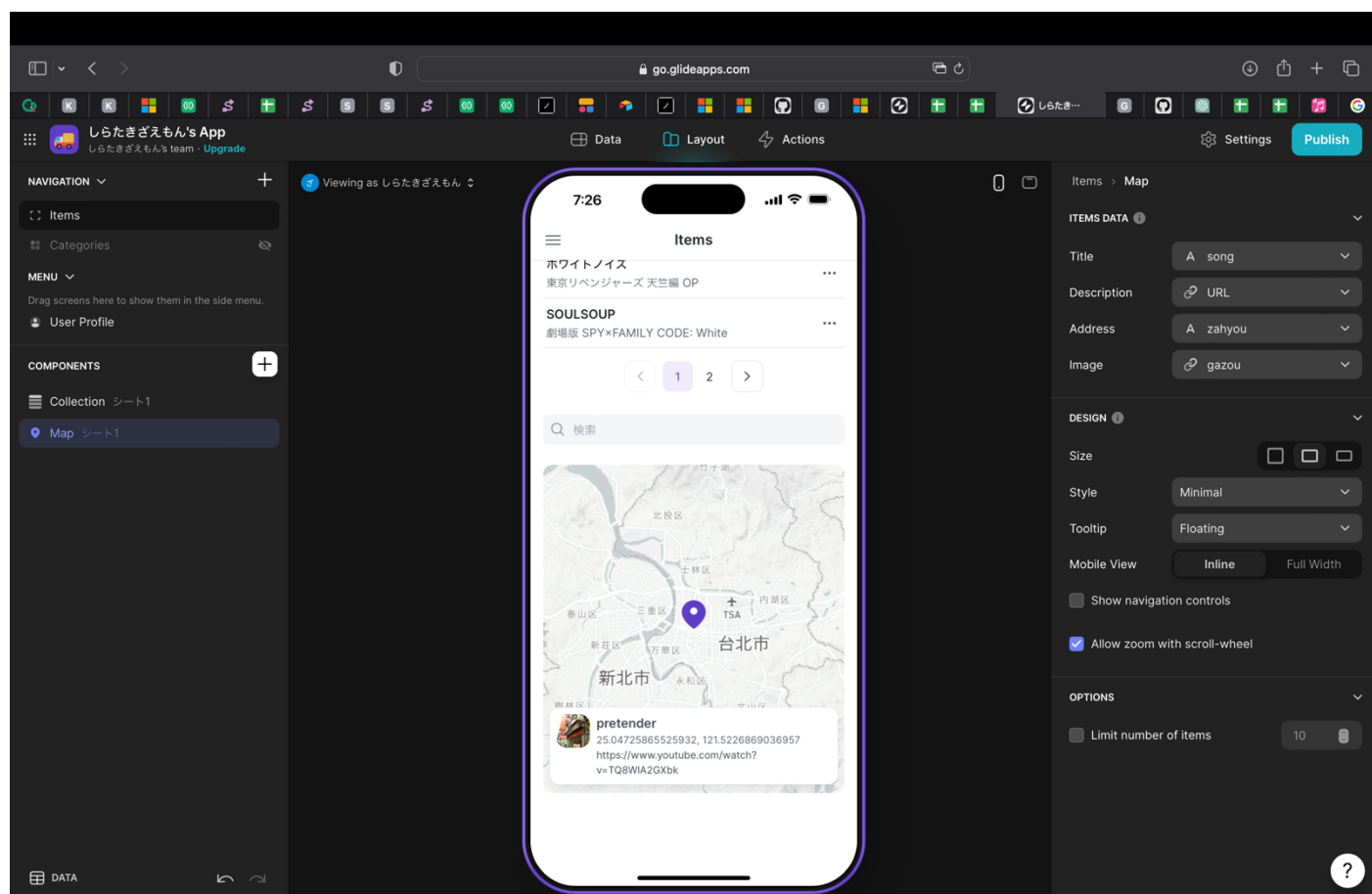
サービス説明(動作がわかるように画面を交えて説明すること)



このように曲の一覧が出てきて利用者は気になる曲を選択して詳細を見ることができる。また検索も可能。



曲を押すとこのように詳細が出てきたの URL を押すと YouTube に飛んで実際に曲を聴くことができる。



下にスワイプするとマップが出てきてどこで撮影されたかが地図から検索することができる。

レポート(4)の記載内容の実現状況（原則 100%となること

全て実践済みで動作確認済み。